

こども  
子供のインターネットバイブル  
あんない  
案内いたします

ひ おとこ  
火の男



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Lazarus

かいさくしゃ  
改作者: E. Frischbutter

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

しゅつぱんしゃ  
出版社: Bible for Children  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2010 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、  
また きよか  
又はプリントは、許可されています。



くに なか

イスラエルの国の中は、たいへん。なにもかも、

おう

うまくいってないようですよ。まず、王さまも、

じょおう

かみ

だい

女王さまも、神さまが大きらい。



ふたり

てほん

二人とも、ほんとうによくないお手本です。

くに ひとびと

かみ

だから、この国の人々も、また、神さまが、  
大きらいになってしまったのです。



みんなは、すぐに、にせの神さまを、  
れいはい かみ くに  
礼拝しはじめました。この国に、だれか、  
かみ あい ひと  
神さまを愛する人が、いるのでしょうか。



そう、いきましたよ。心こころから神かみさまを信じ、礼拝するしん れいはい

人たちが、ほんの少しだけいきました。ある日のこと、  
すこ ひ

神さまは、その中なかの一人ひとりに、話はなされました。



ひと な  
その人の名は、エリア。



エリアは、<sup>おう</sup>ひどい王さま  
アハブに、言いました。

「アハブ王、  
イスラエルの主<sup>しゅ</sup>

なる神さまは、<sup>かみ</sup>  
生きていらっしや  
います。わたしが、

神さまの「よし」<sup>かみ</sup>  
ということばを言わ<sup>い</sup>  
ないかぎり、...



なんねん

...これから何年もの

しも

あいだ、ずっと霜もお

あめ

りないし、雨もふら  
ないでしょう。」

これは、

たいへん！





ききんが、やってくる  
ということですね。

た  
食べものが、  
なくなって  
しまいます。

かみ  
神さまは、

わる  
悪いことばかりし  
じぶん たみ

ているご自分の民を、  
そのままにしてお  
かれないのです。





かみ  
神さまは、  
このように  
おう  
王さまに、  
こく  
けい告さ  
れたあと、  
エリアを、  
いなかの

ところ い い

しずかな所へ、行くように言われました。

おがわ

エリアは、そこの小川のそばで、

かみ つぎ ま

神さまの次のことばを、待ちましたよ。





かみ  
神さまは、  
た  
カラスに食  
べものを、  
まいにち

はこぶようにしていただきました。毎日、

あさ ゆうがた にく  
朝と夕方になると、カラスはパンと肉をもってきてく  
れず おがわ  
れます。お水は、小川からくむことができました。



でも、  
すぐに  
おがわ  
小川は、  
カラカラ。  
どうし  
てって、  
いっ あめ  
一てきの雨  
もふらなか  
ったので



かみ  
すから。神さまのことばは、ほんとうでした。国中の  
みず おお  
水が、たりません。こくもつは、大きくなりません。





ひとびと  
人々は、  
おなかがペ

コペコ。たぶん、エリアも、思ったことでしょう。  
これから、どうなるんだらうって。とうとう

おがわ みず  
小川の水もなくなってしまったようです。



かみ

い

神さまは、エリアに言いました。「さあ、エリア、

た あ

立ち上がって、サレプ

い

タへ、行け。そして、

す

そこで住むのだ。

ごらん、わたしは、

ひとりのやもめに、



あなたのせわをす  
るようになって、

めい

命れいしてお

いたからね。」



かみ

神さまは、エリアに、

め づか

ひつ

召し使いが必ようだと、

わかっていらっしやい

かみ

ました。でも、神さ

まって、なんて、

ほうほう

ふしぎな方法で、

ひつ

ようい

必ようなものを用意

されるのでしょ。う。



とにかく、エリアは、すぐに神さまにした  
がいました。かれが、  
サレプタにつくと、  
まち い ぐち  
その町の入り口では、  
ひとりのやもめが、  
ちい えだ  
たきぎの小さな枝をあ  
つめていましたよ。





みず すこ

「どうか、このコップに、水を少しいただけませんか。  
それに、パンもひ  
くち  
と口、いただけませ  
んか。」エリアは、  
おんな ひと  
その女の人に、  
たのみました。



おんな ひと い  
女の人、は、こたえて言いました。  
「パンは、ないのです。

ひと  
一にぎりのコムギ  
こ なか  
粉が、うつわの中に、  
すこ あぶら  
ほんの少しの油が、  
なか  
つぼの中にあ

るだけ  
なのです。」



おんな ひと

しゃ

女の人、かなしそうに、よげん者

エリアに、<sup>い</sup>言いました。

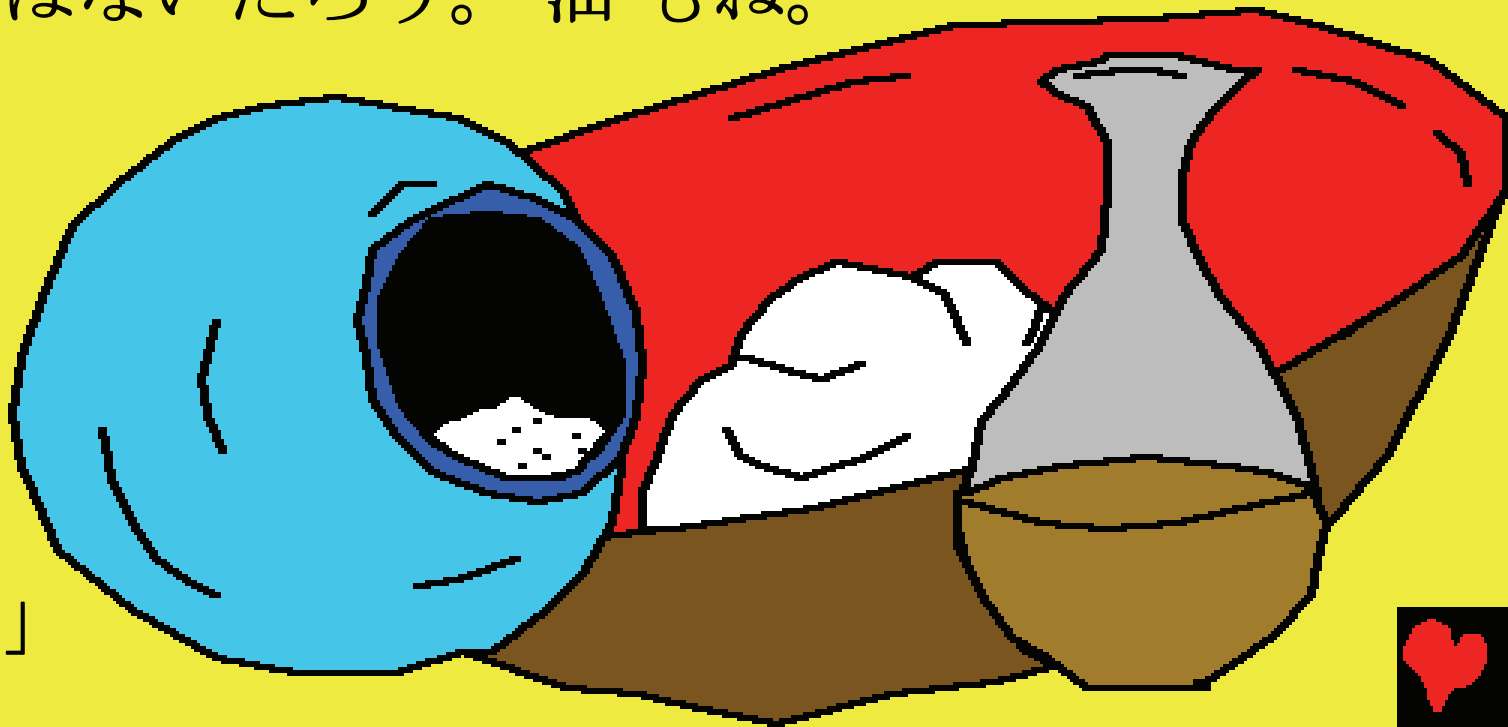
「これを<sup>た</sup>食べてしまうと、わたしとむすこは、<sup>た</sup>食べるものがなくなり、

<sup>し</sup>死んでしまう  
でしょう。」



「おそれることはない。はじめに、その粉<sup>こな</sup>で、わたし<sup>ちい</sup>に、小さなケーキ<sup>つく</sup>を作ってください。そのあとで、あなたと、むす子<sup>こ</sup>にもケーキ<sup>つく</sup>を作ってください。」そしてエリアは、言いました。「コムギ粉<sup>こ</sup>は、なくなって<sup>あぶら</sup>しまうことはないだろう。油もね。

主<sup>しゅ</sup>が、この<sup>ち</sup>地に雨<sup>あめ</sup>を、ふらせてく<sup>ひ</sup>ださる日<sup>ひ</sup>がくるまで。」



かみ

神さまは、このために、きせきを、おこされなければ

かみ

ならないでしょうね。そう、神さまは、ちゃんとそう

おんな ひと

こ

していただきましたよ。女の人と、むす子は、それか

なんにち

た

ら何日ものあいだ、食べることができました。

こ

それでも、コムギ粉のうつわは、

から

空になるこ

とはなく、

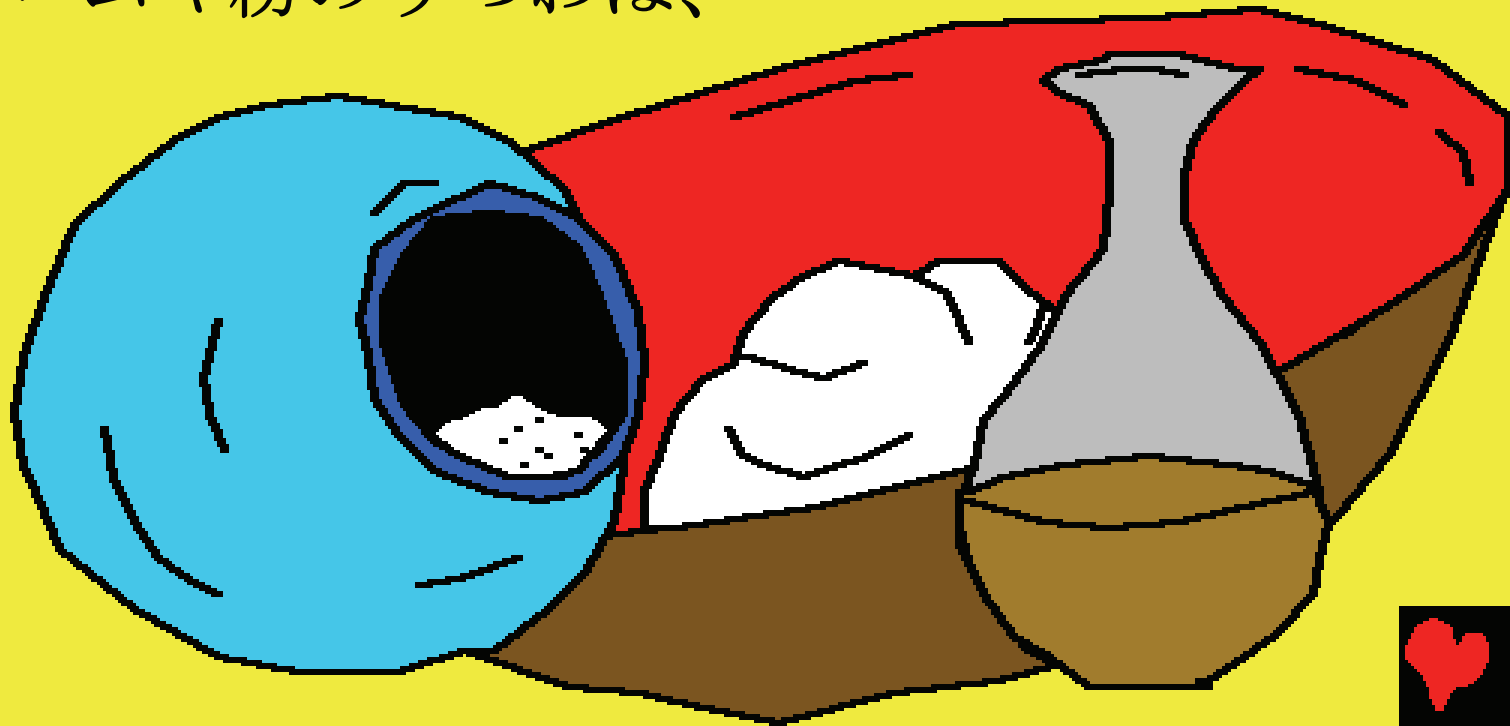
あぶら

油も、

たりなく

なりませ

んでした。



おんな ひと こ す  
エリアは、やもめの女のひととむす子と、いっしょに住  
ひ

みました。ところが、ある日、

かなしいことが、  
おこりました。その

こ  
やもめのむす子が、

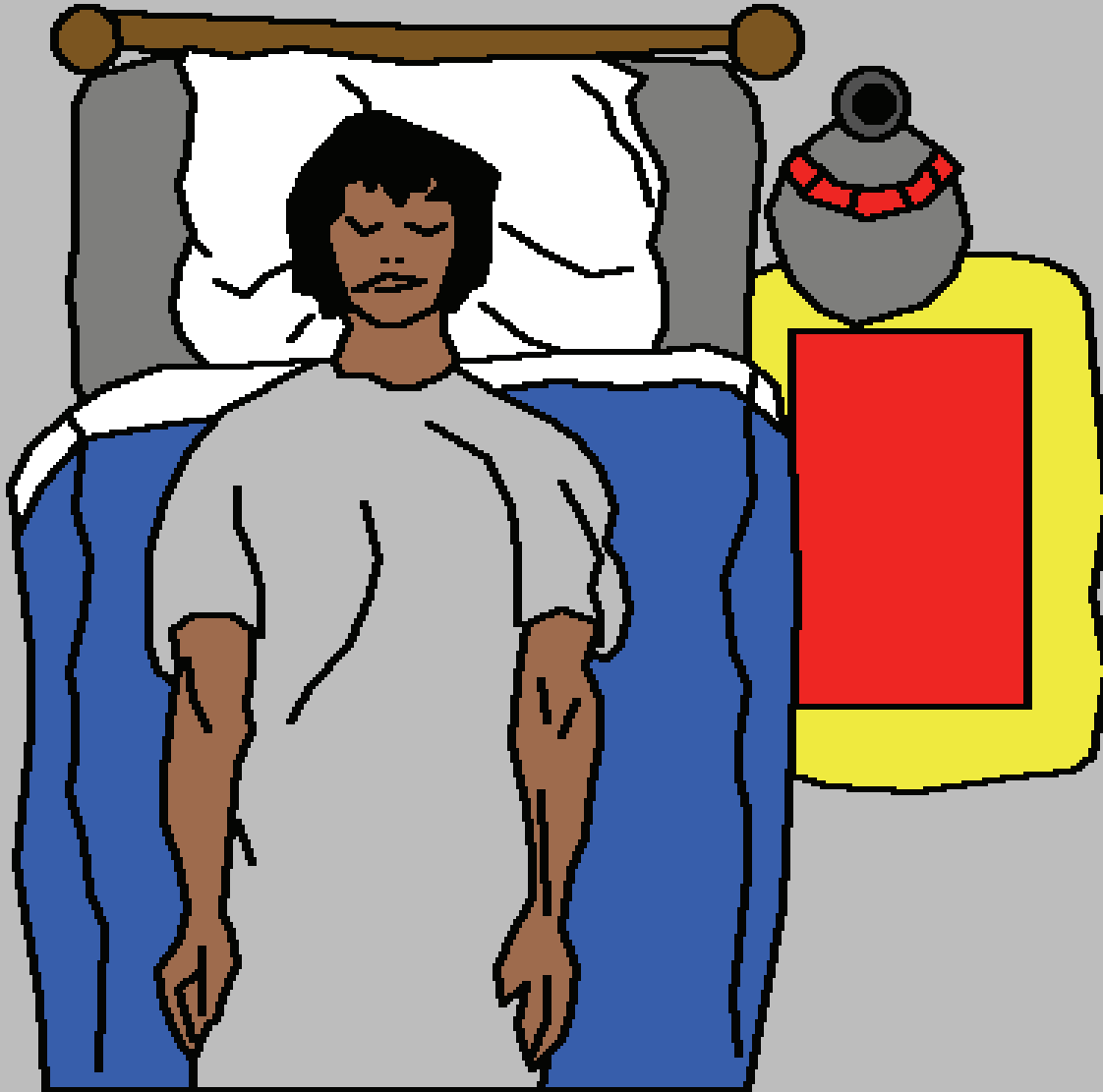
し  
死んでしまったの

です。エリアは、

こ したい  
むす子の死体を、

うえ  
上のへやに、

はこびました。



しゅ

そして主にむかって、さげびましたよ。「おう、

しゅ

かみ

主よ、わたしの神よ！どうか、

こ

この子のたましいを、

もと

元にもどして

ください。」

あれあれ、エリ

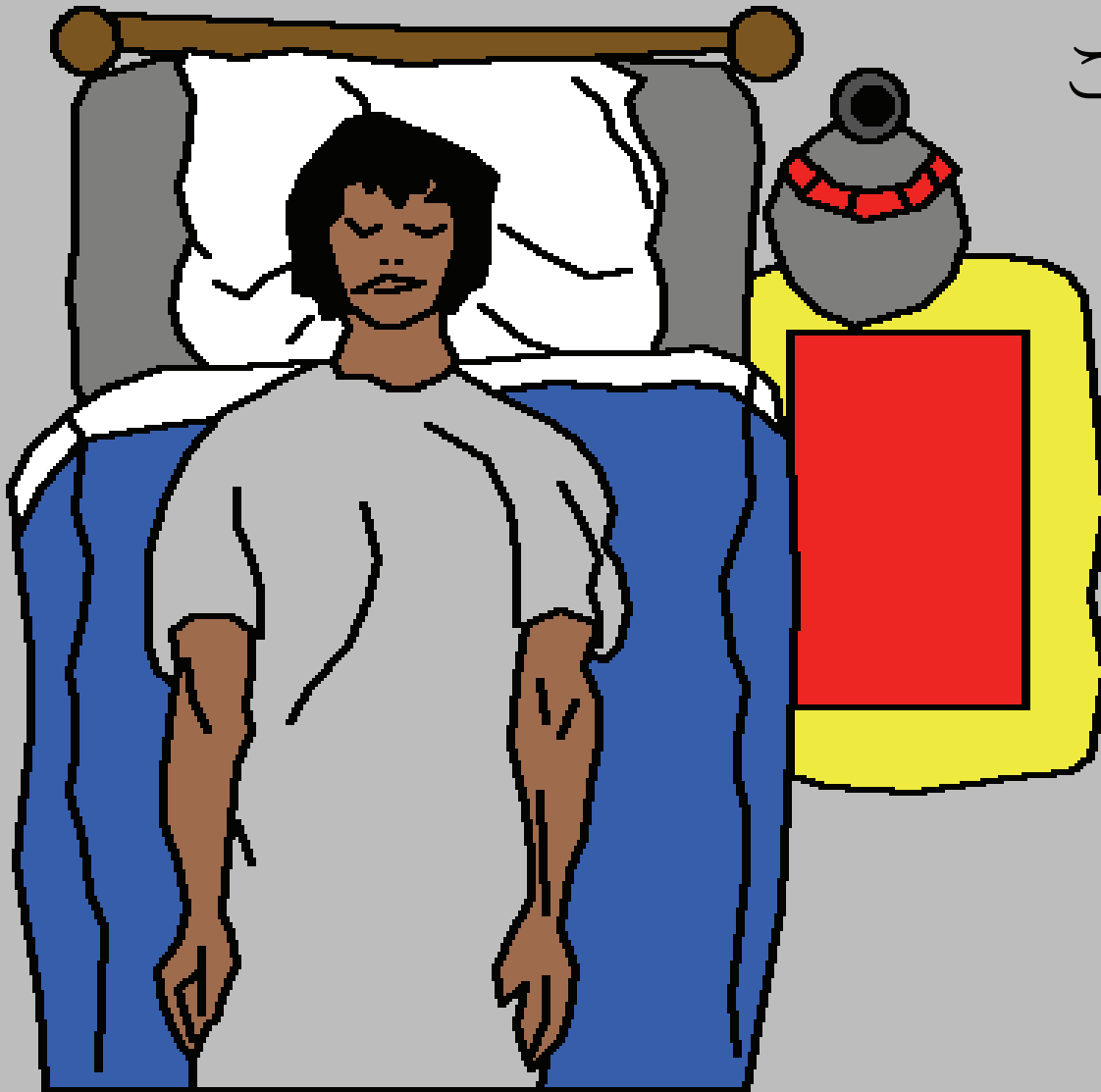
いの

アの祈りは、

ちょっとむり

じゃないので

しょうか。



でも、主は、ちゃんとエリアの祈りを、  
聞いてくださったのです。

その子のたましいは、戻され、  
生き返りました。

エリアが、その子を  
とり上げ、母おやに、  
わたしたとき、かの女  
は言いました。





いま  
「わたしは、今、やっとわかりました。

くち で しゅ  
あなたの口から出る主のこ

しんじつ  
とばは、真実です。」



ねん

かみ

それから、3年たちましたよ。神さまは、エリアに、  
い  
言われました。



おう  
「王さまのところへ、行き、こう伝えなさい。

ち  
あめ  
わたしは、この地に、雨をふらせようと。」



えっ、アハブのところへ？アハブのおくさん、イゼベルは、もうすでに100人ものよげん者を、殺しているのですよ。だいじょうぶでしょうか。



けれども、エリアは、いつも神さまの言われるとおりに、  
かみ　い  
したがいます。かれは、すぐにアハブのところへ、  
むかいました。



おう

アハブ王とエリアが、

であ

出会ったとき、エリアは、

おう

せん

王にちょう戦し、

ひとひと

イスラエルの人々と、

しゃ

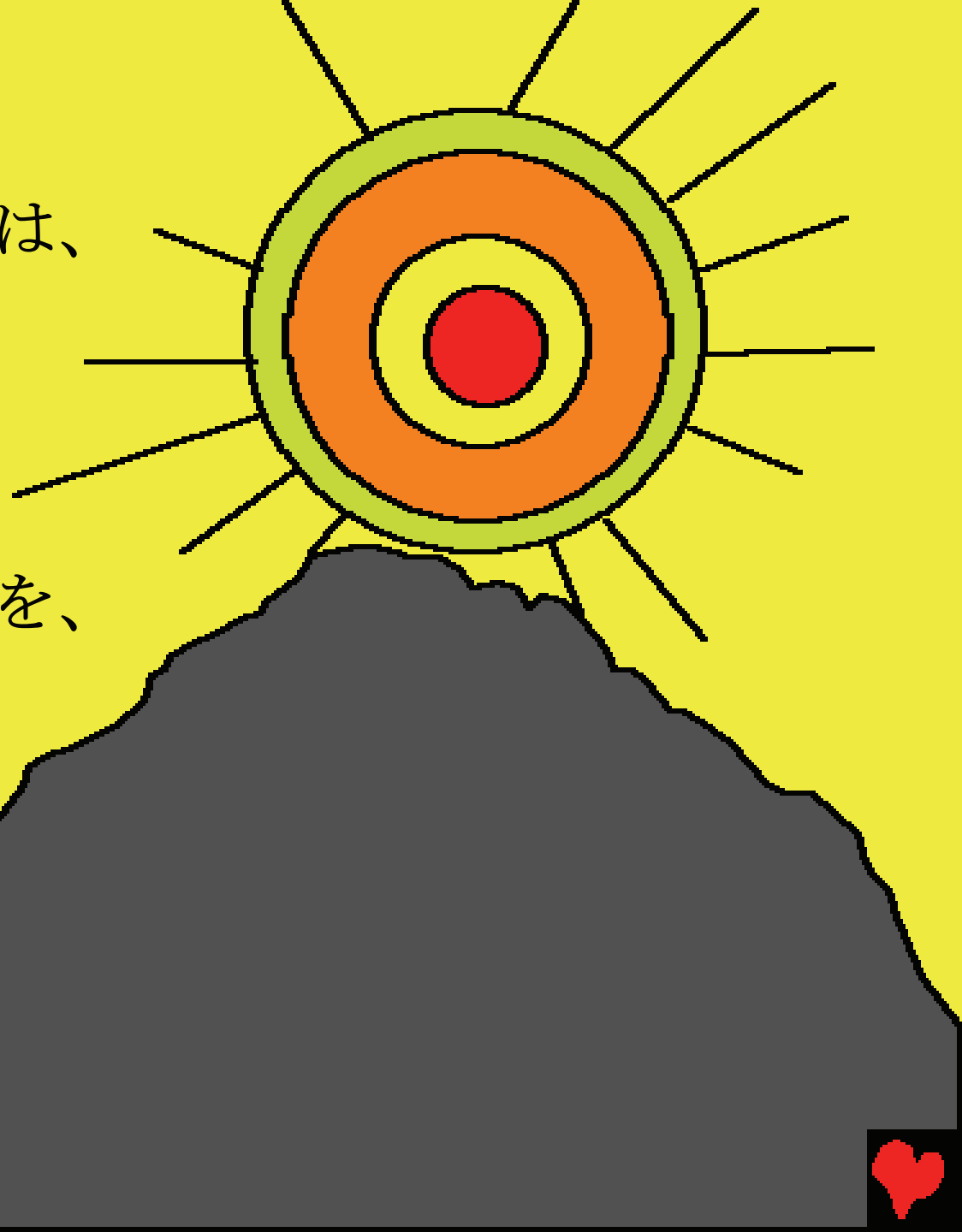
にん

にせよげん者850人を、

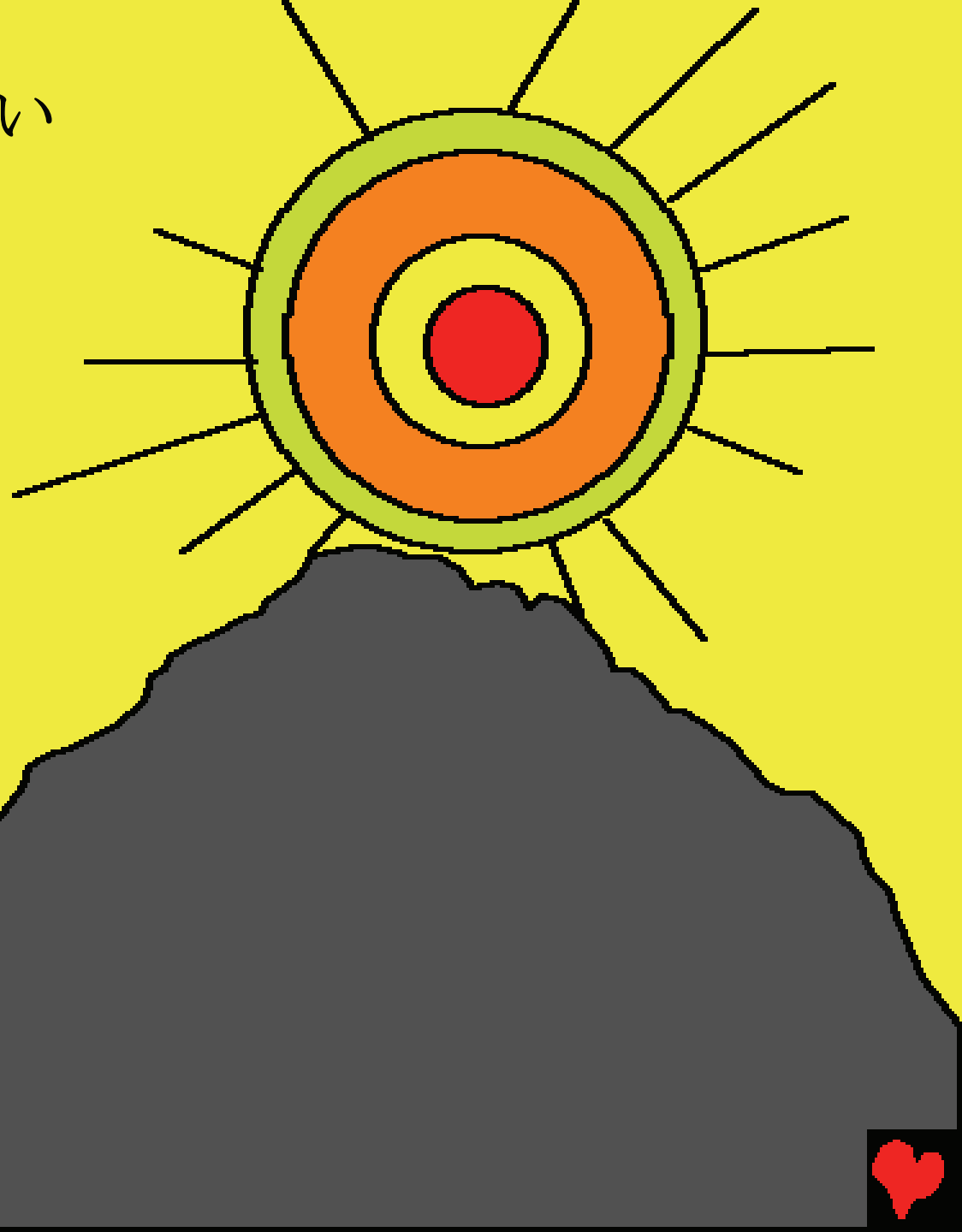
あつめるようにと、

い

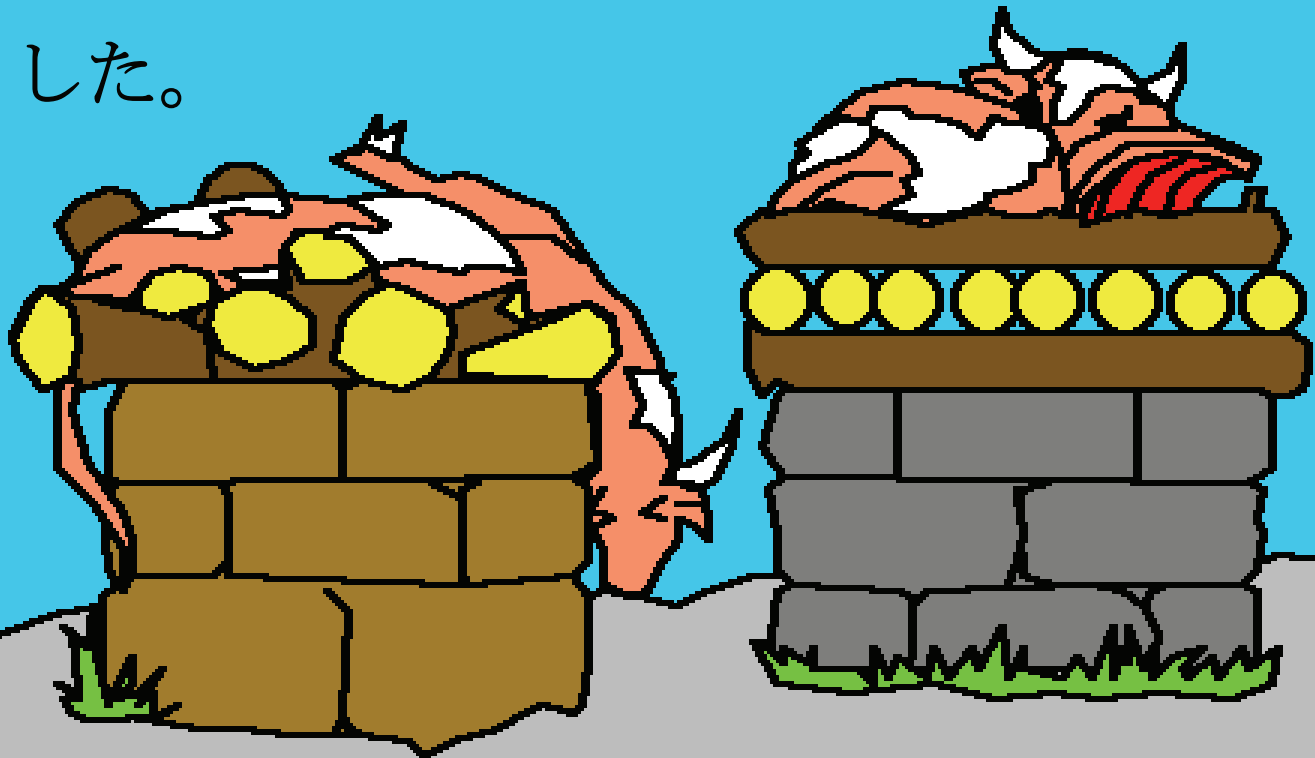
言いました。



そして、クルメル山とい  
さん  
うところで、人々に向  
ひとひと む  
かってさげびました。  
「みんな、もし、  
しゅ かみ  
主が神さまなら、  
しゅ  
主にしたがうのだ。」

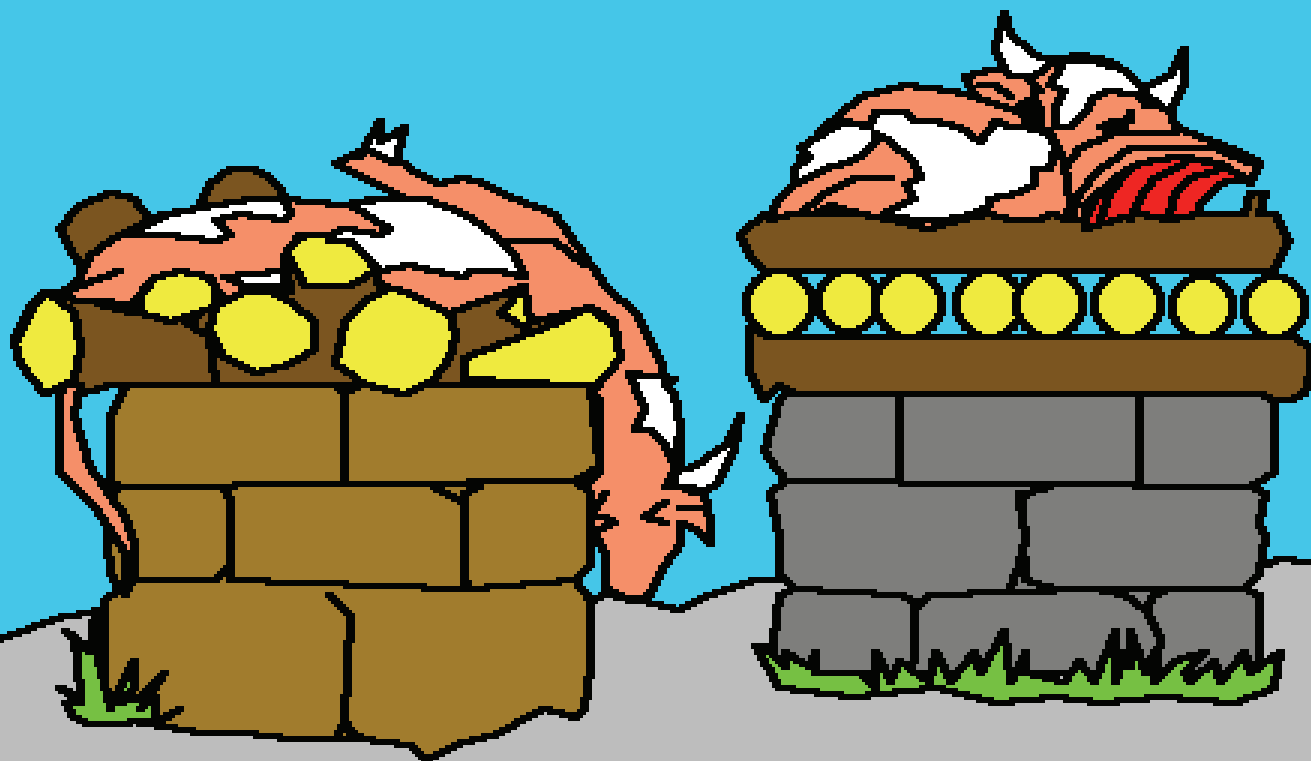


エリアは、いけにえに、<sup>うし</sup> 2頭の牛<sup>ようい</sup>を用意しました。  
けれども、牛<sup>うし</sup>には火<sup>ひ</sup>をつけないで、たきぎ<sup>うえ</sup>の上に、  
のせましたよ。<sup>かみ</sup> 「あなたがたは、あなたがたの神<sup>よ</sup>を呼<sup>よ</sup>  
び、わたしは、主<sup>しゅ</sup>の名<sup>な</sup>を、呼<sup>よ</sup>びもとめよう。」 エリア  
は、言<sup>い</sup>いました。





ひ  
「火によって、こたえてくださる神、その方こそ、  
かみ ひとびと い  
神さまなのだ。」人々は、こたえて言いました。  
「そうだ、そのとおり。」



あさ ゆう しゃ  
さて、朝から、夕ぐれまで、にせよげん者たちは、  
いっしょうけんめい。にせの神さまを、呼びもとめま  
した。とびはねたり、おどったり、ナイフで自分にキ  
ズつけて血をながしたりしながらね。



でもね、何にしても、  
火がつきません。





さて、こんどは、  
エリアのばん。  
エリアは、たきぎにも、  
うし  
いけにえの牛にも、  
みず  
水をぶっかけましたよ。  
あれあれ、みんなビ  
ショビショですね。  
いの  
それから、祈りました。  
しゅ  
「主よ、どうか  
き  
お聞きください。





ひとひと

この人々が、あな

かみ

たが神であることが、  
わかりますように。」

しゅ

ひ

すると、主が、火をおこ

ひ

されました。その火は、

も

あ

ぱあっと燃え上がり、

うし

牛とたきぎにつき、

いし

さい

石の祭だんまで、

も

燃えつくして

しまいました。



み ひとひと  
それを見たとき、人々は、さけびました。

しゆ しゆ かみ  
「主よ、主こそ、神さまだ！」そこで、  
い  
エリアは、言いました。「バアルのよ  
しや  
げん者を、とらえるのだ。

ひとり  
だれ一人として、ここから、  
にがしてはならぬ。」



おう  
エリアは、アハブ王が、ずっとまえに、  
やらなければいけなかったことを、  
やりとげたのです。エリアは、  
しゃ  
にせよげん者たちを、  
みんなころしましたよ。



それから、<sup>かみ</sup>神さまのしも  
べは、アハブに<sup>い</sup>言いました。

もうすぐ、<sup>あめ</sup>雨が、やってくるだろうと。

<sup>ちい</sup>まもなく、<sup>くも</sup>小さな雲が、<sup>み</sup>見えて

きましたよ。



でも、ほんとうに雨  
がふってくるかな？

ねん  
3年いじょうも、ずっとカラカラで、  
いっ  
あめ  
一てきの雨もふらなかつたの  
だから。







しばらくすると、<sup>そら</sup>空が、  
<sup>かぜ</sup>くもと風で、もうまっ黒。

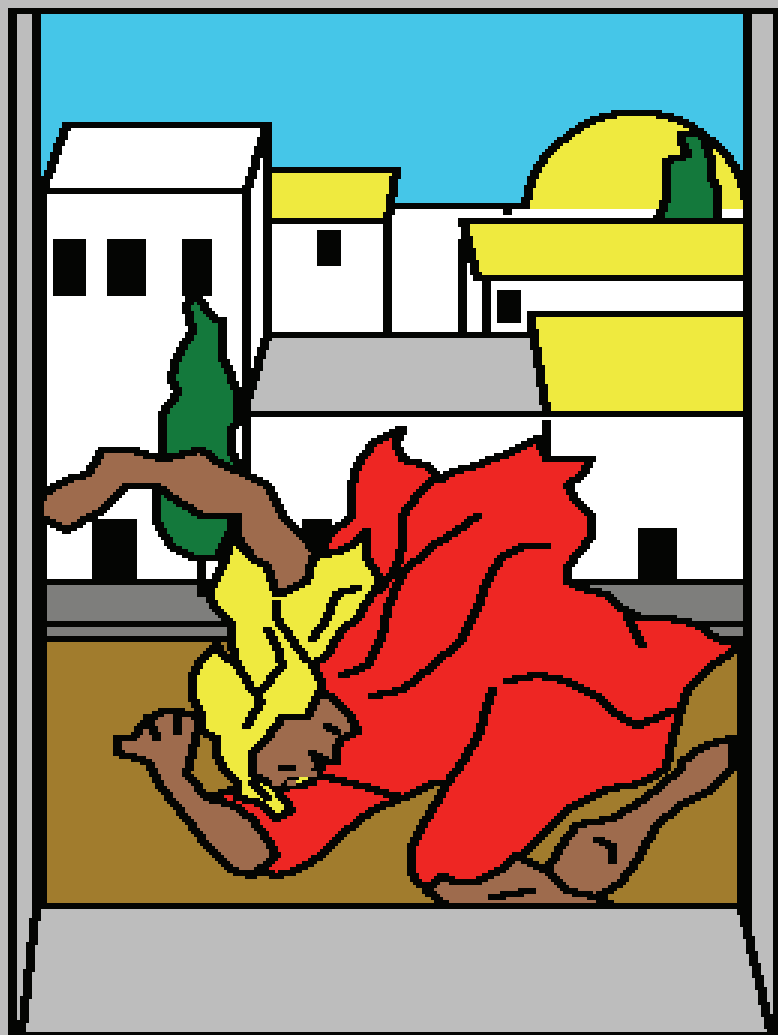
それから、<sup>あめ</sup>ひどい雨が、  
<sup>だ</sup>ふり出しました。とうとう、  
<sup>かみ</sup>神さまが、<sup>あめ</sup>雨をおくって

<sup>かみ</sup>ださったのです。神さまは、  
<sup>ひとびと</sup>人々にエリアが、ほんとう

<sup>はな</sup>のことを話していることを、  
<sup>しめ</sup>示していただきましたね。



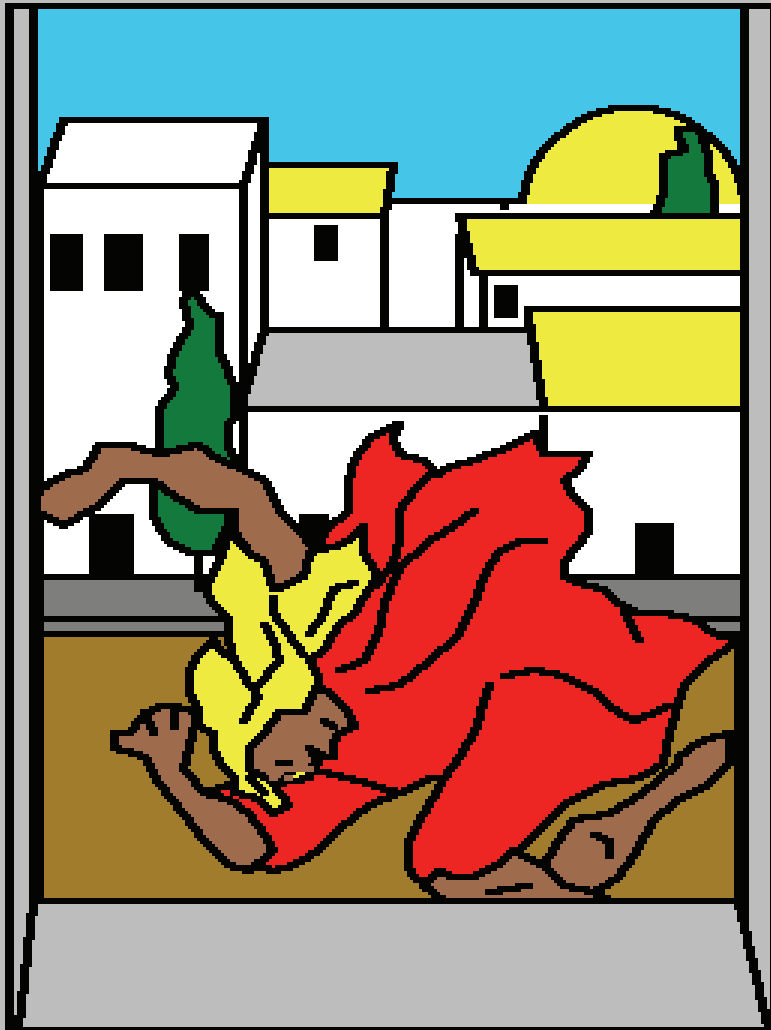
みなさん、これでアハブは、<sup>かみ</sup>神さまと、しもベエリア  
<sup>おも</sup>を、あがめるようになったと思いますか。いえいえ！



<sup>おう</sup>それどころか、アハブ王  
のおくさんイザベルは、  
エリアを、ころそうと  
したのです。でもね、  
エリアは、うまくにげ  
ることができたよ。



そののち、アハブは、<sup>たたか</sup>戦っているあいだに、  
<sup>し</sup>とうとう死んでしまいました。では、イザベルは？



<sup>じょ</sup>かの女は、<sup>め</sup>召し<sup>つか</sup>使いに、  
<sup>たか</sup>高い<sup>うえ</sup>おしろの上から、  
<sup>っ</sup>まっさかさまに突きお  
とされてしまいました。  
ドシン！

<sup>いし</sup>石にはげしくぶつかり、  
<sup>し</sup>死んでしまったのです。





さて、  
エリアは、それから  
どうなったのでしょうか。  
ある日、神さまは、  
エリアのところに、  
火の馬がひく火の車を、  
おくりました。





かみ                      つか                      ひ                      おとこ  
神さまに仕える火の男 エリアは、  
くるま  
その車にのりましたよ。





そして、

かぜ

ぐるぐるとうずまく風とともに、

てんごく

たかくたかく天国へ、

のぼ

上っていったのです。



ひ おとこ  
火の男

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

れつおうきじょう しょう しょう れつおうきげ しょう  
列王記上 17 章 — 19 章、列王記下 2 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり





せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに  
かみ かみ  
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを  
おも  
しってほしいと、思っています。

かみ わたし  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい  
かみ つみ つみ  
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の  
し かみ あい  
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい  
ひとり こ よ おく  
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って  
つみ じゅうじかじょう な  
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ  
てんごく  
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい  
しん  
えへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる  
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください  
いま ところ き なか  
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に  
す い  
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生  
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ  
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな  
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ  
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして  
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし  
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい  
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし  
て生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

